



再認定審査結果の指摘事項に係るアクションプラン

南アルプス（中央構造線エリア）ジオパークは、2020年に実施された日本ジオパーク委員会再認定審査において「条件付き再認定」となりました。同委員会の「審査結果報告書」に示された課題等について、改善に向けた今後のアクションプラン（行動計画）を以下のとおり定めます。

緊急に着手しないし解決すべき課題 (おおむね1年以内)	改善目標	改善時期			改善方法	改善行動	具体的な行動	改善主体		
		R4.3 まで	R4.9 まで	R4.10 以降						
①事務局体制の強化 <ul style="list-style-type: none"> 主体的で積極的な運営参加がみられない 活動全体を俯瞰して管理運営できる組織作り 	<ul style="list-style-type: none"> ジオパークを継続する意義と目標を共有 構成団体が一体的に活動 目標に沿った実行性のある事業計画を策定 	○			ジオパーク継続の意義と目標の確認と共有	定期的な会議開催	会員や関係者の意見を聞きながら、ジオパークを継続する意義を確認し、目標を共有。	協議会全体		
		○	→		構成団体間の連携体制の強化	メール、オンラインツール活用	幹事会は定期開催。団体等の活動状況を定期的に更新して情報共有。	団体会員、部会員		
		○	→		事務局業務の分担	部会等の事務分担	構成市町村間で部会事務や協議会事業等を分担して推進。	構成市町村、部会		
		○	→		基本計画の見直し、実行計画の策定、規約の改正	幹事会による案作成と総会議決	幹事会中心に目標と基本計画を見直し。実行性のある事業計画を策定。あわせて年度末総会で規約改正。	幹事会、団体会員		
		○	→		部会の再編と相互連携	部会の見直しと部会主体の事業実施	ガイド部会の検討。部会それぞれの事業計画による事業実施。部会員の主体的な会議運営。部会間の連携。	各部会		
②基本計画と事業計画の改善 <ul style="list-style-type: none"> 関係者で時間をかけて議論し目標を共有する 中長期の基本計画、4年程度の事業計画を区別する 	<ul style="list-style-type: none"> 現地看板の改修（撤去） 観光客への経緯説明 	○			看板撤去等の実施	現地調査後、伊那市による撤去処置	ゼロ磁場の図解看板を撤去。事業者との協議を継続。撤去の影響を把握。	伊那市		
		○	→		利用者へ啓発物配布	磁場解説の内容検討、啓発物作成	学術、教育、観光、ガイドの各部会等との協議により、啓発物内容と配布方法を検討。現地交通機関との連携。	部会、伊那市		
		③ジオパークの理念にそぐわない観光継続の問題（分杭峠） <ul style="list-style-type: none"> 間違った地球科学的な伝達がないようにする 「磁場」について理解できるように解説する 	<ul style="list-style-type: none"> 論文リストの整理 ジオサイトとエコサイト、文化サイトの整理 	○			論文リストの整理、各サイトの分類・整理	学術部会等によるリスト化作業	学術部会による論文ベースのジオサイト及び自然サイトの見直し。構成市町村による文化サイトの見直し。	学術部会、構成市町村
				○	→		サイト合同パトロールの実施	定期的なパトロールと現地研修	ガイド等による通常の保全状況の確認記録をカルテに記載。保全に課題のあるサイトを重点的に合同パト。	幹事会、ガイド会
④ジオサイト設定方法の再整理と学術的価値の再確認 <ul style="list-style-type: none"> 選定根拠となる論文リストを整理する ジオサイトの再設定をする 	<ul style="list-style-type: none"> 重複のある他地域との情報交換 ユネスコエコパーク協議会との共同事業 			○	→		二つのユネスコプログラムの整理と理解	有識者からの情報収集と整理表作成	重複エリアの課題と利点を対照整理表により確認。有識者への海外先進事例の聞き取り。	事務局
		○	→		重複している先進地域等との情報交換と連携	オンライン情報交換会の開催	重複地域との意見交換と連携。ユネスコエコパーク協議会への経過報告と活動提案。エコ登山の活用と普及。	事務局		
⑤ジオパークとユネスコエコパークそれぞれの特質を活かした活動 <ul style="list-style-type: none"> 双方のプログラムの特性を理解する 相乗効果を生み出す 	<ul style="list-style-type: none"> 防災データの整理 既存プログラムへ導入 	○			地形・地質に関わる災害履歴データの収集	データのリスト化と教育への活用	国県ほか行政や教育機関等のエリア内災害の既存資料を整理。地形・地質と災害の特性との関連性を分析。	事務局、学術部会等有識者		
		○	→		既存教育プログラムへの組み込み	学校授業、公民館講座等での防災教育	関係機関に働きかけ。教育現場のほか防災講座等の地域学習、観光の場面で地形・地質から災害特性を解説。	教育部会		
⑥土砂災害や河川防災に関する教育・啓発活動の検討 <ul style="list-style-type: none"> 防災意識を高める教育・啓発活動を検討する 	<ul style="list-style-type: none"> ネットワーク活動の地域への還元 ネットワークを通じた情報発信 	○	→		地域内外への情報発信強化	ニュースレター発行、SNS活用強化	エリア内外へレター発行。持続的な取材・編集方法の検討。JGNのMLへ課題等の発信。会員のSNS利用拡大。	事務局		
		○	→		他地域に学んだ成果を活かした活動	大会、研修への参加とフィードバック	初任者、経験者のJGN大会・研修への参加と参加報告会開催。課題解決や活動見直しのフィードバック。	会員、部会員		
⑦ネットワーク活動の成果の具現化とネットワークへの貢献 <ul style="list-style-type: none"> 他地域に積極的に学ぶ ネットワークへの積極的な参加を支援する 	<ul style="list-style-type: none"> 展示のリニューアル 	○	→		長谷VC等の展示リニューアルの実施	エリア全体のわかる展示の実施	エリア全体を示す内容等検討。改修施設の展示や運用方法の協議。POP等を利用した他地域等の紹介。	関係施設		
		○	→		情報センター化とガイドセンター化の推進	施設内外におけるガイド活動の実施	拠点施設へのガイド配置検討。エリア内の交通等の最新情報を集約し発信。ガイドの情報交換の場として活用。	ガイド会		
⑧拠点施設の充実と効果的な運用 <ul style="list-style-type: none"> 効果的にエリア全体の展示・解説・情報集約及び発信をする 	<ul style="list-style-type: none"> 展示のリニューアル 	○	→		長谷VC等の展示リニューアルの実施	エリア全体のわかる展示の実施	エリア全体を示す内容等検討。改修施設の展示や運用方法の協議。POP等を利用した他地域等の紹介。	関係施設		
		○	→		情報センター化とガイドセンター化の推進	施設内外におけるガイド活動の実施	拠点施設へのガイド配置検討。エリア内の交通等の最新情報を集約し発信。ガイドの情報交換の場として活用。	ガイド会		